

教職の魅力 みんなの意見聞こう



学校の先生へのイメージについて意見交換する参加者＝刈谷市井ヶ谷町の愛知教育大で

愛教大でフォーラム
る。
(生津千里)

さまざまな立場の人と意見交換しながら、小中高校の先生の仕事の魅力について考える「第一回地域フォーラム」が二十六日、刈谷市井ヶ谷町の愛知教育大であった。

近年、教員採用試験の競争倍率が低下傾向にあり、教職員のやりがいも、教育分野以外の人からの意見も聞いて再発見しようと開催した。参加したのは、大学関係者に加えて、四十代で転職した民間企業出身の教員や、教員経験のない社会人など約十五人。二グループに分かれて、教職員のイメージや教育現場を取り巻く現状を話し合った。

愛教大を卒業し、豊橋市役所で働く松浦弘樹さん(三十九)は「子どもの手本となる教員は間違っていない」といった職業観が固定されていると思う。もっと自分らしく働くことができれば、教員を目指す人も増えるのでは」と話した。十一月に予定している第二回のフォーラムは、高校生や大学生を交えて議論す